

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各学年とも、ICTを効果的に活用して学習に対する関心・意欲を高めている。また、課題について自分の考えを書き、グループで話し合いをするなどの学習の仕方を工夫することで、基礎・基本を身に付けさせることができた。
- ・漢字学習では昨年に引き続き、反復練習を継続して行ってきた。その結果、新出漢字が定着した児童が増えた。
- ・相手に自分の思いや考えを伝える活動として、スピーチの内容を自分の言葉でまとめたり、簡単にメモしたりする学習を日常的に行ってきた。その結果、自分の思いや考えを相手に伝わるように話すことができるようになってきた。

(2) 課題

- ・昨年に続き「主体的に取り組む態度」に課題がある。学習課題について、最後まで粘り強く考え、解決できるように指導していく必要がある。
- ・「知識・技能」において、目標値に近づいてきている。引き続き漢字や語句、文法等の学習を繰り返し、定着させるように指導する必要がある。
- ・物語の読み取りや、説明文の読み取りにおいて、目標値を下回っている項目が多く見られた。叙述に即して考えることができるように指導する必要がある。
- ・読み取ったことや自分の考えを文章で表現することに課題がある学年があった。日ごろから、短文を書く活動や、文章の構成を考える活動を通して、書くことに慣れる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	達成率+4.4		
第5学年	達成率-2.2	達成率-5.5 (第4学年時)	
第6学年	達成率-2.3	達成率+1.2 (第5学年時)	達成率-0.9 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」は目標値を上回っている。 ・漢字を読むことに関しては、目標値を上回っているものの、漢字を書くことに関しては目標値をやや下回っており、書くことに関して、課題がある。 ・言葉に関しては目標値と同等の結果となっており、改善が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」は目標値を上回っている。前年度より大幅に上昇しており、改善がみられた。 ・「話すこと・聞くこと」については、目標値を若干ではあるが上回る結果となった。 ・「書くこと」については、目標値を上回る結果となった。自分の考えを書く問 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や自分の考えを発表すること、文章に表すことに関して、意欲的に取り組むことができています。 ・積極的に課題に取り組もうとする意欲がある反面、自身が作成したものに対しての見直しや推敲に課題がある。 ・課題に対して、粘り強く取り組むことが難しい児童もいるため、継続した指

	<p>題については、目標値を下回っており、自分の意見を書くことに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」については、目標値を上回る結果となった。特に説明文の内容の読み取りが大きく上回っており、改善がみられた。 	<p>導の必要がある。</p>
--	--	-----------------

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「知識、技能」は目標値をやや下回っているが、ほぼ目標値と同等の値になっている。 ・漢字を読むことに関しては、目標値を上回っているものの、漢字を書くことに関しては、目標値をやや下回っており、漢字を書くことに関して課題がある。 ・言葉に関しては目標値と同等の結果となっており、改善が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」は目標値を下回っている。 ・「話すこと・聞くこと」については、目標値に近い結果となった。考えを広げたり、まとめたりすることについて課題がある。 ・「書くこと」については、目標値を下回っており、目的に応じた文章や、報告文の作成について指導の必要がある。 ・「読むこと」については、目標値を下回る結果となった。段落相互の関係性や、情報の整理について、大きく下回っており、改善の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に関しては、個人差が大きくなってきており、語彙力にも差が出てきている。 ・音読や発表に、意欲的に取り組んでいる。ICT機器を活用したプレゼンテーション能力は高まっている。 ・見通しをもって、粘り強く学習課題に取り組んでいるが、時間に対する意識が弱く、時間の配分や使い方を調整する力に課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字は、音訓両方の読み方押さえる。また、その進出漢字を使った言葉や短文作りの学習を増やすことで文章の中で正しく使えるようにする。漢字学習は継続して反復練習する機会を朝学習や授業に設ける。 ・主語と述語についての理解を深めるように日常的に指導していく。また、実物と言葉を結び付けながら、語彙を増やす活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、相手を見て話を聞き、順序に気を付けて聞いたり話したりする意識をもてるように指導する。ペア学習を活用し、話し方・聞き方の定型を定着させるようにする。 ・「書くこと」については、身近な事柄を簡単に説明する文章を書かせることで、抵抗感なく書くことを習慣づける。簡単な文章構成メモを作らせ、読み手を意識して順序よく文章が書けるようにする。例文を示し、より良い書き方について話し合わせるようにする。 ・「読むこと」については、時間的な順序を考えながら場面の様子を想像して場面に合った音読ができるようにする。物語の設定を確認させ、あらすじを短い文でまとめる活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの時間を充実させ、読書意欲を喚起する。 ・感想を伝えたり、紹介文を書いたりして、互いに本に親しむようにする。 ・日記などを書かせることで、日常の出来事や考えと理由について書く習慣を付けるように促す。 ・書くことについて苦手意識をもつ児童については、友達の文章を参考にさせたり、教師が手本を示したりして、短文を書く経験を重ねることができるようになる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習を繰り返し、テストを活用して自分の学力をはかる機会を通して、自信をつけさせる。 国語辞典や漢字辞典を日常的に使用し、使い方に親しませるようにする。 ローマ字の読み書きについて、自主学習やタブレット端末への入力等を通して、日常的に復習させることで定着を図る。 語彙を増やすためにも、図書の時間などを確保し読書活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」については、話の中心や相違点・共通点を考えながら聞くために、メモの活用や話し合う機会を増やす。 「書くこと」については、指定された長さで書いたり、「はじめ・中・おわり」を意識して構成したりする機会を増やす。書く相手や目的を明確にしながらかくように指導する。推敲を児童自身が行えるように見直すポイントを示し学習できるようにする。 「読むこと」については、繰り返し音読させ、課題に対して自分の考えをもつ際に、どの言葉から考えたのかを叙述を基に指摘できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や図書の時間を有効に使い、物語文や説明文に関する本に親しむ機会を多くする。 自分の考えや思いを書けるように、楽しくて興味がもてる題材を与え、書くことに対する関心を高める。 ICTを効果的に活用し、課題について話し合いをするなどの学習を工夫して関心・意欲を高めていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 熟語などは意味を考えながら覚えさせ、学習した漢字を作文やプレゼンテーションなどで活用するように指導する。 敬語については、日常的に意識して学校生活で生かせるようにする。 語句の役割や主述関係・修飾・被修飾関係などは場面を適切にとらえて使えるように、繰り返し指導する。 辞典やタブレット端末を活用しながら語彙を増やし、作文に活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」については、日常的にスピーチの内容を自分の言葉でまとめたり、簡単にメモしたりする活動を行う。また、大事なことはメモを取りながら聞くことを習慣化させ、共通点や相違点を意識させる。 「書くこと」については、文章の構成・記述の仕方を重視し、自分の考えと理由を明確に書くようにさせる。自己推敲・相互推敲させ、助言し合えるようにポイントを示す。 「読むこと」については、いろいろな種類の本を目的に応じて読むように指導する。説明文では、大切な段落について中心となる語や文を見つけて要約する指導を重点的に行う。物語文では、あらすじや登場人物の関係を捉え、登場人物の心情など、叙述をもとにとらえられるように文章に線を引かせたり、キーボードを見つけたりさせる。 タブレット端末を使い、自分が話している様子を客観的にとらえさせ、より良い話し方ができるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きは反復練習を継続する。漢字テストで自分が立てた目標を達成できるように学習方法について個別にアドバイスする。 朝読書の時間を定期的に確保するとともに、図書室を積極的に活用させることを通して読書の楽しさを感じるようにする。 朝のスピーチなど、自分の思いや考えを伝える場面を有効的に活用して、「話すこと・聞くこと」に関する学習に関心を高めるように努める。 タブレット端末などのICTを効果的に活用したり、課題について話し合いをしたりするなどの学習を工夫して、時間の配分方法や関心・意欲を高めていく。